

長須政司 教授 略歴・主要著作目録

略 歴

昭和 23 年 8 月	東京都に生まれる
昭和 42 年 3 月	東京都立西高等学校卒業
昭和 47 年 3 月	東京大学法学部卒業
昭和 47 年 4 月	
～48 年 1 月	朝日生命保険相互会社勤務（本社収納課）
昭和 48 年 7 月	海外経済協力基金入社
昭和 52 年 12 月	
～55 年 3 月	同マニラ駐在員付
昭和 55 年 4 月	
～63 年 10 月	同本部勤務（アフリカ担当課，調査第一課長）
昭和 63 年 11 月	
～平成 3 年 10 月	世界銀行（ラテン・アメリカ局第三部（カリブ諸国担当），同第一部（ペルー担当））
平成 3 年 10 月	
～7 年 9 月	海外経済協力基金（業務第三部第二課長（ラテン・アメリカ担当），同第一課長（中近東アフリカ，中央アジア担当）等）
平成 7 年 10 月	
～10 年 9 月	欧州復興開発銀行（中央アジア・チーム上級バンカー）
平成 10 年 9 月	
～13 年 3 月	海外経済協力基金（業務二部次長，開発部長）
平成 13 年 4 月	
～15 年 3 月	カンボジア派遣 JICA 専門家（財務経済大臣顧問）
平成 15 年 4 月	
～26 年 3 月	立命館大学国際関係学部教授

業績一覧

論文等

<プロジェクト評価関連>

「審査マニュアル総論」(海外経済協力基金内部資料) 昭和 51 年

「経済評価におけるシャドープライスの意義」『基金調査季報』第 19 号, 昭和 50 年 3 月

「プロジェクト評価再考 (I): 金利はコストか」『基金調査季報』第 43 号, 昭和 58 年 7 月

「プロジェクト評価再考 (II): IRR とは何か」『基金調査季報』第 44 号, 昭和 58 年 11 月

「プロジェクト評価再考 (III): 減価償却費はベネフィット?」『基金調査季報』第 45 号, 昭和 58 年 3 月

「プロジェクト評価再考 (IV): プロジェクトとは何か」『基金調査季報』第 46 号, 昭和 59 年 7 月

「プロジェクト評価再考 (V): 資本の機会費用とは何か」『基金調査季報』第 47 号, 昭和 59 年 11 月

「プロジェクト評価再考 (VI): 債務累積問題とプロジェクト評価」『基金調査季報』第 48 号, 昭和 60 年 2 月

「プロジェクト評価再考 (VII): プロジェクト評価とは何か」『基金調査季報』第 49 号, 昭和 60 年 6 月

<市場経済移行関連>

「市場移行改革再考－キルギスタンの経験」アジア経済研究所, 平成 13 年 10 月

「2つの市場移行改革」『立命館国際研究』15 卷 3 号, 平成 15 年 3 月

「財政」『ラオス, カンボジアの債権市場育成・整備のための調査』財務省国際局 <http://www.mof.go.jp/jouhou/kokkin/tyousa/1603raokan-7.pdf>, 2004 年 3 月

<カンボジア関連>

「カンボジア経済の近況及び援助と投資の増大について」『立命館国際研究』22 卷 3 号, 平成 22 年 3 月

“Challenge of Managing Donors in Cambodia: Review of the Process of Preparing the National Poverty Reduction Strategy” *True Ownership and Policy Autonomy: Managing Donors and Owning Policies* edited by Izumi Ohno, National Graduate Institute for Policy Studies Development Forum, 2005 年 8 月

<開発援助関連>

「コンサルタント雇用ガイドライン」(海外経済協力基金内部資料), 昭和 52 年

「中進国化しつつある ASEAN4 カ国に対する政府開発援助のあり方」『基金調査季報』第 53 号,
昭和 61 年 9 月

共同翻訳

Warren C. Baum and Stokes M. Tolbert, *Investing in Development: Lessons of World Bank Experience*, Oxford University Press for the World Bank, 1985. (邦題「途上国の経済開発」東洋経済新報社, 昭和 63 年)

